



米っ子だより

柏崎市立米山小学校
学校だより 6月号
令和6年6月5日

キックベースボール

校長 嶋田 純一

今、全校体育でキックベースボールの学習を行っています。キックベースボールとは、投手が転がしたボールを打者が蹴るというサッカーと野球が合わさったような球技です。キックベースボールは、団体種目なので13名が2チームに分かれてゲームを行います。学年も性別も違うメンバーなので、技術に差があるのは当然です。キックで遠くまでボールを飛ばしたり、失点を少なくするための動きを理解して守備をしたりできる子もいます。一方で、フライを上手くキャッチすることが難しかったり、ボールをどこに投げればよいのかが分からず迷ったりする子もいます。

授業の様子を眺めていた時のことです。蹴られたボールをキャッチした子が急いで一塁に送球しましたが、一塁を守る子はそのボールを落としてしまいました。送球した子の残念がる様子を見て、ボールを落とした子は申し訳なさそうな表情をしていました。次の回の守備でも同じような場面がありました。ボールをキャッチした子は、アウトを取ろうと送球しました。今度は一塁の子がしっかりボールをキャッチすることができ、二人とも大喜びでした。私は、送球した子からは、一塁の子が受け取りやすいようにスピードを加減しているように、そして、受け取る子からは「今度は絶対にしっかりキャッチするぞ」という強い意気込みを感じました。

キックベースボールの学習のねらいの一つに、「みんなで楽しむ」があります。しかし、球技が得意な子は自信満々に張り切って取り組み、楽しむこともさることながら勝ちたいという思いが強くなりがちです。苦手意識のある子が抱きやすい「ミスをしないだろうか」というプレッシャーに気付くことはなかなか難しいです。そうした中でのスピードを加減したパス、パスをしっかり受け取るぞという意気込みは、ねらいを達成するために大変重要だと思いました。キックベースボールは、球技としての技能を高めるだけでなく、相手を思う気持ちを育む大切な学習でもあるのだと再認識しました。

6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」



全校集会で、「わたしのいもうと（松谷みよ子作）」という物語を紹介しました。いじめは、たった一つしかない大切な命を奪うこともある、だから「いじめをしない、許さない、見逃さない」ことを心に刻みましょう、と伝えたところです。私達大人は、いじめはいつ、どこで起きても不思議ではないということを自覚しなくてはなりません。子どもの表情や声のトーンなどから、普段との違いを感じ取り、寄り添うことが大切です。もし、ご心配なこと、気になることなどがありましたら、いつでも学校にご連絡ください。

大運動会 ～ 保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました ～



< 6月の主な予定 >

- 6日(木) 「人権の花」贈呈式(柏崎市人権擁護委員会より)
- 7日(金) 学習参観 救急法講習会 PTA三役会 読書支援員来校日
- 12日(水) 笹団子作り(米山コミセン) ALT訪問
- 13日(木) スクールカウンセラー来校日(午前)
- 14日(金) 3.4年生自転車教室(3限) 読書支援員来校日
- 17日(月) 水泳学習開始予定(リーバーでの報告を忘れずをお願いします。)
- 18日(火) ICT支援員来校日
- 19日(水) 全校SSE ALT訪問
- 20日(木) 5.6年生妙高自然教室(～21日)
- 21日(金) 読書支援員来校日
- 24日(月) 栄養教諭来校日
- 26日(水) 全校集会 ALT訪問 全校5限後下校(校内研修のため)
- 27日(木) 3.4年生交流学习(2.3限: 剣野小・鯨波小・大洲小)
学校評議員会・後援会評議員会
- 28日(金) 読書支援員来校日



米山小HP

